

# 令和5年度全国学力・学習状況調査結果の分析と改善に向けて

## 1 調査の概要

- (1) 実施期日  
令和5年4月18日（火）実施
- (2) 調査対象学年  
小学校第6学年（日田市：516人） 中学校第3学年（日田市：512人）
- (3) 調査内容
  - ◇教科 小学校第6学年 国語、算数  
中学校第3学年 国語、数学、英語
  - ◇質問紙調査（児童・生徒）
- (4) 調査内容の説明
  - ◇「知識」に関する内容と「活用」に関する内容を一体的に問う調査問題
  - ◇質問紙調査（児童・生徒）
    - ・児童生徒を対象に学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査
- (5) 用語の説明
  - ◇正答率：全設問に対して児童生徒が正答した割合（集団の場合は平均値）。
  - ◇全国比：全国の平均正答率を100とみたときの日田市の割合。
  - ◇偏差値：個人や集団の相対的位置を、50を基準とした指数として表す指標。

## 2 結果の概要

### 【小学校6年生】

≪平均正答率（％）≫※色付き部分は全国値以上

	小学校6年生	
	国語	算数
日田市	66	61
大分県	69	64
全国	67	63
全国比	99	97

### 【中学校3年生】

≪平均正答率（％）≫※色付き部分は全国値以上

	中学校3年生		
	国語	数学	英語
日田市	67	47	36
大分県	69	49	41
全国	70	51	46
全国比	96	92	78

### 3 教科に関する調査結果の分析及び改善の方策

#### 小学校6年生 国語

##### ①結果の概要

- ◇平均正答率は全国平均正答率を下回った。
- ◇領域・事項は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」で全国平均を上回り「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」は下回った。
- ◇評価の観点は、「思考・判断・表現」で全国平均を上回り、「知識・技能」は下回った。
- ◇問題形式は「記述式」「選択式」「短答式」のすべてで全国平均を下回った。

##### ②教科領域結果 ○：できている点 ●：課題がある点

###### 言葉の特徴や使い方に関する事項

- 当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと

###### 情報の扱い方に関する事項

- 原因と結果など情報と情報との関係について理解すること
- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと

###### 話すこと聞くこと

- 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること
- 必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心を捉え、自分の考えをもつこと

###### 読むこと

- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること
- 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること

###### 学びに向かう力に関連すること

- 無回答率（解答しなかった児童の割合）は漢字の書きの1問を除き、全国よりも低い。

##### ③具体的な授業改善の方策・ポイント

- ・情報と情報との関係を理解するためには、様々な情報の中から、共通点と相違点、考えと理由・事例、全体と中心、原因と結果などの関係を見出し、結び付けてとらえることができるようにすることが重要。

①情報を取り出す

②情報を図や表を用いて整理する

③関係を捉える

などと順序立てて指導するとともに、その成果として

④発信する（自分の表現に役立てる）

など、汎用性のある力まで高めるよう、「書くこと」と関連づけて指導を行う。

「書くこと」については、自分の書く目的にあった情報の整理の仕方を選ぶことができるように、整理の仕方の例を提示することが望ましい。

複数の情報を整理することで、考えをより明確なものにしたり、思考をまとめたりすることができるよさを実感させるように指導することが大切。

情報の関係を様々な方法で整理することで、考えをより明確なものにしたり、思考をまとめたりできることを実感できるように指導すると効果的

## 小学校6年生 算数

### ①結果の概要

- ◇平均正答率は全国平均正答率を下回った。
- ◇領域は、「図形」で全国平均を上回り、「数と計算」「変化と関係」「データの活用」で下回った。
- ◇観点は、「知識・技能」「思考・判断・表現」で全国平均を下回った。
- ◇問題形式は、「選択式」「短答式」「記述式」のいずれも全国平均を下回った。

### ②教科領域結果 ○：できている点 ●：課題がある点

#### 数と計算

- $\frac{1}{10}$ の位までの小数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算ができることを知ること。
- 乗数や除数が整数である場合の小数の乗法及び除法の計算ができること。
- 数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、計算の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かすこと。
- 四則の混合した式や（ ）を用いた式について理解し、正しく計算すること。
- 四則に関して成り立つ性質についての理解を深めること。（交換法則、結合法則、分配法則）

#### 図形

- 二等辺三角形、正三角形などについて知り、作図などを通してそれらの関係に次第に着目すること
- 三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解すること。

#### 変化と関係

- 伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察すること。
- 異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を考察し、それらを日常生活に生かすこと。

#### データの活用

- 百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求めること。
- データを二つの観点から分類整理する方法を知ること。

#### 学びに向かう力に関連すること

- 無回答率（解答しなかった児童の割合）はすべての問題で全国よりも低い。

### ③具体的な授業改善の方策・ポイント

- ・日常生活の問題を解決するために、場面を解釈して数量の関係を捉え、式を用いることができるようにする。
- <問題番号3（2）>（分配法則）
- ①3種類のファイル23人分の並べ方を二通り考える。
  - ②それぞれの並べ方から式を考え、どのように式を用いたのかを説明させる。
    - ・3種類のファイルごとに23人分の長さを求めるための式
    - ・3種類のファイルの長さを合計して一人分の長さを求めるための式 等
  - ③説明したことを基に、式からわかることや能率的に計算することなどの観点から、それぞれの考えのよさについて話し合う。
- また、場面を式に表すだけでなく、場面を式に表した後、分配法則を用いて（ ）を用いた式に表し、その式から場面を新たに捉えることができるようにすることも大切

## 中学校3年生 国語

### ①結果の概要

#### 【国語】

- ◇平均正答率は、全国平均正答率を下回った。
- ◇領域・事項は、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」で全国平均を下回った。
- ◇評価の観点は、「知識・技能」「思考・判断・表現」で全国平均を下回った。
- ◇問題形式は、「選択式」「短答式」「記述式」で全国平均を下回った。

### ②教科領域結果 ○：できている点 ●：課題がある点

#### 我が国の言語文化に関する事項

- 古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉えること

#### 話すこと・聞くこと

- 目的や場面に応じて質問する内容を検討すること。
- 話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問すること。
- 聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめること。

#### 書くこと

- 読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること。
- 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと。

#### 読むこと

- 文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉え、要旨を把握すること。

#### 学びに向かう力に関連すること

- 無回答率（解答しなかった生徒の割合）は短答式、記述式の全ての問題で全国よりも高い。

### ③具体的な授業改善の方策・ポイント

- ・レポートなど調べたことや考えたことを伝える文章を書く際には、伝えたいことが伝わる文になるように、根拠を明確にすることが大切。その際、根拠として複数の事例を示したりして専門的な立場からの知見を引用するなど、工夫して書くことができるよう指導する。
- ・生徒が古典との距離を縮め、古典の世界に親しむためには、古典の現代語訳や古典について解説した文章などを教材として取り上げ、生徒自身が古典の楽しみ方を見出すことができるように指導することが大切。例えば、登場人物の言動や心情などについて自分が想像したことを、古典の原文や現代語訳の言葉を用いて説明させる等。

## 中学校3年生 数学

### ①結果の概要

- ◇平均正答率は全国平均正答率を下回った。
- ◇領域は、「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」で全国平均を下回った。
- ◇観点は、「知識・技能」「思考・判断・表現」で全国平均を下回った。
- ◇問題形式は、「短答式」「選択式」「記述式」のいずれも全国平均を下回った。

### ②教科領域結果 ○：できている点 ●：課題がある点

#### 数と式

- 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明すること

#### 図形

- 図形の性質を考察する場面において、
  - ・事象を数・量・図形等に着目して観察すること
  - ・空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解していること
- ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明すること

#### 関数

- 関数を用いて事象を捉え考察する場面において、
  - ・事象の特徴を的確に捉えること
  - ・反比例の意味を理解していること
- 事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈すること
- 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること

#### データの活用

- 不確定な事象についてデータに基づいて考察する場面において、
  - ・情報を分類したり整理したりすること
  - ・累積度数の意味を理解していること

#### 学びに向かう力に関連すること

- 無回答率（解答しなかった生徒の割合）は15問中12問で全国平均よりも高い。

### ③具体的な授業改善の方策・ポイント

- ・データの分布の傾向を捉える活動を通して、累積度数の必要性和意味について理解できるように指導する。
  - ・事柄が一般的に成り立つ理由を、構想を立てて説明する場面を設定し、文字式や言葉を用いて根拠を明らかにできるように指導する。
- <問題番号6(2)>
- 予想した事柄である「はじめの数にける数が2、たす数が6ならば、計算結果はいつでも3の倍数になる」が成り立つことを次の順序で説明させる。
- ①計算結果を表した式を「 $3 \times (\text{整数})$ 」の形にすればよいという見通しを持つ
  - ② $n \times 2 + (n + 6) = 3n + 6$  ←ここで終わるのは不十分
  - ③ $3n + 6 = 3(n + 2)$  ←「 $3 \times (\text{整数})$ 」の形の式で表せばよいことを確認
- ・事柄が成り立つことについて、構想を立て、それに基づいて証明することができるようにする。
  - ・事柄が成り立つことの説明を振り返り、新たに成り立ちそうな事柄を予想する活動を取り入れることが大切

## 中学校3年生 英語

### ①結果の概要

- ◇平均正答率は全国平均正答率を下回った。
- ◇領域は、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」で全国平均を下回った。
- ◇観点は、「知識・技能」「思考・判断・表現」で全国平均を下回った。
- ◇問題形式は、「選択式」「短答式」「記述式」で全国平均を下回った。

### ②教科領域結果 ○：できている点 ●：課題がある点

#### 聞くこと

- 情報を正確に聞き取ること
- 日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ること
- 社会的な話題について、短い説明の要点を捉えること

#### 読むこと

- 情報を正確に読み取ること
- 「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むこと
- 日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ること
- 日常的な話題について、文と文との関係を正確に読み取り、短い文章の概要を捉えること
- 社会的な話題について、短い文章の要点を捉えること

#### 書くこと

- 未来表現 (be going to) の肯定文を正確に書くこと
- 「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くこと

#### 学びに向かう力に関連すること

- 無回答率（解答しなかった生徒の割合）は「書くこと」の全てで全国平均よりも高い

### ③具体的な授業改善の方策・ポイント

- ・デジタル教科書などを活用しながら、「聞くこと」の活動を繰り返し行い、情報を正確に聞き取ることができるようにする。
- ・自分の置かれた状況などから判断して、複数の情報が含まれる文章から必要な情報を読み取ることができるようにする。
- ・説明文を読んで概要を捉えることができるようにする
  - \* 短い説明やエッセイ、物語などの文章全体を読んだ上で、時系列に情報を整理したり、書き手が伝えたいことの大まかな内容などを把握したりする活動
  - \* 学校生活を紹介している短い文章を読む際に、それぞれの情報の関係を示す接続詞に注目させながら文章の流れを理解したり、キーワードを拾い、全体としての内容を数文の英語でまとめたりする活動
  - \* 友人や教師が休日を過ごした中で感じたことなどのエッセイを読む際に、出来事を時系列に沿って整理し、伝えようとしている内容を絵や簡単な英語で表現する活動
- ・場面や状況に応じて正確に英文を書く
  - \* 書いた英文が相手に正しく伝わるかどうかについて、生徒自身が読み直して誤りを修正したり、ペアでチェックし合ったりして正確な英文に書き直す活動
- ・自分の考えや気持ちを英語で書く言語活動を継続的・計画的に取り入れることが重要

## 4 児童・生徒質問紙調査結果について

- (1) **生活習慣・家庭での学習習慣等に関する回答状況** (数値は肯定的回答の割合 %)

※色つき：全国値より5ポイント以上

※太線枠：全国値より5ポイント以下

### 【自尊心・将来に対する意識・学校生活・規範意識等】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
自分には、よいところがあると思いますか	86.7	83.4	83.5	79.5	78.8	80.0
将来の夢や目標を持っていますか	83.6	80.4	81.5	61.5	64.8	66.3
学校に行くのは楽しいと思いますか	83.8	85.5	85.3	79.4	82.8	81.8

### 【基本的生活習慣・家庭での学習習慣】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
朝食を毎日食べていますか	92.6	93.7	93.9	93.1	92.2	91.2
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	68.7	72.8	70.7	51.8	55.5	55.0

### 【社会に対する意識・地域との関わり】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
新聞を読んでいますか ※週に1回以上	6.7	8.5	12.6	6.8	6.6	8.1
今住んでいる地域の行事に参加していますか	74.6	59.3	57.8	54.9	39.2	38.0

- (2) **教科の学習に対する関心・意欲・態度に関する回答状況**

### 【国語（読書）に関すること】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
国語の勉強は好きですか	70.0	64.6	61.5	62.9	62.0	61.4
国語の勉強は大切だと思いますか	94.9	94.9	94.2	92.0	92.6	92.4
国語の授業の内容はよく分かりますか	85.7	87.4	85.7	83.8	80.1	80.0
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	94.6	93.5	92.8	91.1	89.5	88.7
解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか ※全て最後まで書こうと努力した	87.1	85.6	80.7	74.6	76.6	74.3

【算数・数学に関すること】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
算数・数学の勉強は好きですか	63.7	61.6	61.4	49.2	55.8	56.7
算数・数学の勉強は大切だと思いますか	93.2	94.3	94.2	86.7	85.8	85.0
算数・数学の授業の内容はよく分かりますか	80.6	81.1	81.2	69.3	69.6	73.3
算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	93.6	93.3	93.3	79.4	77.5	75.8
言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く（解答を言葉や数、式を使って説明する）問題がありましたか ※全てで最後まで書こうと努力した	83.9	82.7	80.3	61.6	58.1	57.1

【英語に関すること】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
英語の勉強は好きですか	71.3	68.9	69.3	50.0	52.8	51.9
英語の勉強は大切だと思いますか	93.2	91.1	91.3	87.3	86.8	88.0
英語の授業の内容はよく分かりますか				57.1	61.9	63.9
英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか				88.7	86.2	87.5
将来、積極的に英語を使うような生活をしたか職業に就いたりしたいと思いますか	48.6	49.4	52.5	35.5	33.3	36.7
これまで、学校の授業（学校の授業やそのための学習）以外で、日常的に英語を使う機会が（十分に）ありましたか	42.6	43.8	46.5	28.8	29.5	30.0
家庭学習の課題（宿題）として、どの程度PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声を聞いたり英語を話す練習をしたりしていますか（週1回以上）	31.4	27.9	29.5	17.5	23.5	22.9
1, 2年生のときに受けた授業では英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか				75.2	79.2	78.2
1, 2年生のときに受けた授業では英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか				77.8	81.3	80.3



1, 2年生のときに受けた授業では、現行などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか				65.3	64.2	63.8
1, 2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか				73.4	76.2	78.7
1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか				79.1	84.3	82.8
1, 2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか				77.8	81.7	80.7
1, 2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思いますか				76.6	81.6	79.3
今回の英語の問題では、聞いたことについてまとまりのある内容を話す問題がありました。その問題について、どのように解答しましたか ※聞いたことを理解し、話す内容もその内容を表現する英語も思い浮かんだ				42.1	42.1	45.2

【授業改善・学習指導】※「主体的・対話的で深い学び」「新大分スタンダード」に関連

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	83.1	81.2	81.8	77.5	79.5	79.7
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	82.1	80.1	78.8	78.2	79.1	79.2
自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか	61.0	58.3	63.7	53.3	54.7	62.1

「主体的・対話的で深い学び」に取り組んだかどうか

(3) 分析

【小学校6年生】

- 週に1回以上新聞を読む児童の割合が低いことから、地域以外の社会に対する意識を高める環境が整っていない可能性がある。
- 記述問題に対して「全てで最後まで書こうと努力した」と回答した児童の割合が全国よりも高く、最後まであきらめず取り組む粘り強さがある。

【中学校3年生】

- 数学に対し、「大切だと思う」「学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思う」「最後まで解こうと努力した」とする生徒が全国値を上回っているが、それに反して数学に対する愛好度は全国値を5ポイント以上下回っている。
- 英語では、「家庭学習の課題でPC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声を聞いたり英語を話す練習をしたりしている」と回答する生徒の割合が全国値を大きく下回っている。また、「授業でまとめた内容を英語で発表する活動が行われていた」と回答する生徒の割合も全国値を下回っている。
- 昨年度に引き続き、「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している」回答した生徒の割合が全国値を5ポイント以上下回っており、自分の考えは持てるものの相手を意識した伝え方のスキルが身につけていないことが考えられる。

【小・中共通】

- 全国に比べ積極的に地域行事へ参加しており地域との結びつきが強いことから、児童生徒の健全育成のために地域から協力を得やすい環境である。
- 家庭の社会経済的背景（SES）が低い児童生徒ほど、各教科の正答率が低い傾向が見られるが、「主体的・対話的で深い学び」に取り組んだ児童生徒は、SESが低い状況にあっても各教科の正答率が高い傾向が見られる。

②改善の方策

◇児童生徒の実態、教材の特性、教師の願いをもとに、単元を通してどんな力を付けたかを明確にした「主体的・対話的で深い学び」の実現（単元構想、単元計画の充実）  
 ◇教科に対する愛好度を高めるために、授業の「振り返り」の時間を活用し、「本時の自身の学びや成長を振り返る」時間を充実させる。  
 ◇家庭学習の充実  
 ・AIドリルや問題データベースの活用と確かな見取りによるやり直しや補充学習の徹底

5 クロス集計について

(1) クロス集計結果の概要（色付きは最も正答率が高いもの）

①児童生徒の朝食を食べる割合と平均正答率の関係

【朝食を毎日食べている】

選択肢	小学校6年生		中学校3年生		
	国語正答率	算数正答率	国語正答率	数学正答率	英語正答率
している	67.8	63.7	69.2	50.0	38.6
どちらかといえば、している	63.1	54.3	61.1	40.2	30.7
あまりしていない	55.3	51.6	54.2	28.9	27.2
全くしていない	64.3	43.8	69.6	40.0	33.3

②児童生徒の就寝時刻と平均正答率の関係

【毎日、同じくらいの時刻に寝ている】

選択肢	小学校6年生		中学校3年生		
	国語正答率	算数正答率	国語正答率	数学正答率	英語正答率
している	67.7	63.1	68.0	48.8	38.4
どちらかといえば、 している	67.7	62.3	68.9	48.2	37.8
あまりしていない	62.0	58.8	64.5	44.6	33.4
全くしていない	47.0	42.9	59.4	41.2	30.7

③児童生徒の読書愛好度と平均正答率の関係

【読書は好きですか】

選択肢	小学校6年生		中学校3年生		
	国語正答率	算数正答率	国語正答率	数学正答率	英語正答率
当てはまる	69.7	66.6	73.3	52.6	42.1
どちらかといえば、 あてはまる	65.8	61.0	70.1	50.0	38.6
どちらかといえば、 あてはまらない	62.6	55.6	63.5	42.4	33.5
当てはまらない	58.4	49.7	55.8	38.1	29.5

④児童生徒の塾や家庭教師の利用

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
学習塾の先生や家庭教師の先生 に教わっていますか（インターネットも含む） ※「教わっていない」と回答した割合	71.3	62.8	54.4	70.4	52.3	39.3

【学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか（インターネットも含む）】

選択肢	小学校6年生		中学校3年生		
	国語正答率	算数正答率	国語正答率	数学正答率	英語正答率
1 教わっていない	67.6	62.5	67.2	46.8	35.7
2 学校の勉強より進んだ内容や難しい内容を教わっている	67.9	64.8	72.4	54.9	46.8
3 学校の勉強でよく分からなかった内容を教わっている	54.2	47.2	60.0	35.6	27.9
4 上記2、3の両方の内容を教わっている	68.0	61.2	74.9	56.0	44.7
5 上記2、3の内容のどちらとも言えない	59.6	57.8	57.4	44.9	36.8

「朝食を毎日食べる」「決まった時刻に就寝する」等、基本的な生活習慣が確立している児童生徒ほど、平均正答率が高い傾向が見られる。また、読書に対する愛好度が高い児童生徒ほど平均正答率が高いことから、文字数の多い全国調査ではどの教科においても読む力が重要であるといえる。塾や家庭教師を利用する児童生徒と利用しない児童生徒の平均正答率の差が小学校6年生ではわずかだが、中学校3年生では広がっている。

### (3) 改善の方策

◇学力向上会議や学級懇談会、学校便り、ホームページ等を通して、規則正しい生活と学力の相関関係を示し、基本的な生活習慣の確立に向け家庭への協力を求める。あわせて、テストや宿題のやり直しや家庭学習、補充学習の充実を図るため、A Iドリルや問題データベースを活用するなど個に応じた指導を組織的・計画的に実施する。

## 6 学校質問紙調査結果について

### (1) 学校質問紙調査結果の概要（数値は肯定的回答の割合 %）

※色つき：全国値より5ポイント以上 ※太線枠：全国値より5ポイント以下

#### 【児童・生徒の学習状況】※「学びに向かう力」に関連

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童（生徒）一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する（褒めるなど）取組を行いましたか	100.0	98.8	98.9	100.0	97.4	98.3
調査対象の児童生徒は授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	83.4	89.9	87.6	83.4	90.6	95.1

#### 【授業改善・学習指導】※「主体的・対話的で深い学び」「新大分スタンダード」に関連

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができているですか	94.5	93.9	88.9	91.7	89.0	88.0
習得・活用及び探求の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	94.5	92.7	89.0	91.7	92.7	89.0
言語活動について、国語科を要しつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか	94.5	96.8	95.5	83.4	93.3	93.4
学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	88.9	88.2	87.7	91.7	93.2	88.8
学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか	88.9	90.7	91.4	91.7	94.1	96.0
授業において、児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか	88.9	91.9	90.4	100.0	90.7	87.0

【授業改善・学習指導：国語に関すること】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、異なる意見を自分の考えに活かして考えをまとめることができるような指導を行いましたか	94.4	95.5	92.4			
自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫することができるような指導を行いましたか				91.7	94.9	94.0
登場人物の人物像や物語の全体像を具体的に想像し、表現の効果を考えて読むことができるような指導を行いましたか	88.9	96.3	96.8			
文学的な文章を読み、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えることができるような指導を行いましたか				100.0	99.2	99.5

【授業改善・学習指導：算数・数学に関すること】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	88.9	92.7	92.1	100.0	95.0	88.0
具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して(観察や操作、実験等の活動を通して)、数量や図形について実感を伴った理解をする活動を行いましたか	94.4	96.0	97.9	91.7	89.9	84.3
公式やきまり、計算の仕方等を指導するとき、児童(生徒)がそのわけ(根拠)を理解できるように工夫していましたか	100.0	97.9	97.9	91.7	97.5	97.6

【授業改善・学習指導：英語に関すること】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点を捉える言語活動を行いましたか	生徒質問紙での肯定率 77.8			100.0	94.9	96.1
原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動を行いましたか	生徒質問紙での肯定率 65.3			91.7	79.7	76.8
自分の考えや気持ちなどを英語で書く言語活動を行いましたか	生徒質問紙での肯定率 79.1			100.0	92.4	91.9
聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする言語活動を行いましたか	生徒質問紙での肯定率 77.8			91.7	79.7	74.2
聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする言語活動を行いましたか	生徒質問紙での肯定率 76.6			91.7	77.2	75.4

【家庭学習】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、家庭学習の課題の課し方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか	94.5	96.4	90.8	91.7	97.4	84.6
調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、学校では、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか	100.0	97.5	95.7	91.7	97.4	90.9
調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、学校では、生徒が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や生徒の学習改善に生かしましたか	94.5	95.9	90.6	91.7	96.6	84.4

【開かれた教育課程について】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか	94.5	89.4	86.7	100.0	80.5	83.2
保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事などの活動に参加していますか	100.0	97.9	95.9	91.7	89.0	82.1

(2) 分析結果

【小学校】

- 「授業改善・学習指導」に関連する質問事項の多くで、全国値と同程度以上となっており、各学校において組織的な授業改善が行われていると考えられる。
- 国語における「登場人物像や物語の全体像を具体的に想像し、表現の効果を考えて読むことができるような指導」については全国値を下回っている。

【中学校】

- 「生徒の学習状況」について、「調査対象の児童生徒は授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか」という質問に対し、肯定的な回答が全国値を下回った。
- 「授業改善・学習指導」では、「授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか」という質問に対し肯定的な回答が100%となっており、「総合的な学習の時間」を中心として生徒の主体的で協働的な学びが実現できていると考えられる。
- 「学習指導・英語に関すること」では、すべての質問事項に対し肯定的な回答が全国値を上回っているものの、生徒質問紙での同質問に対する肯定率はほぼ全国値を下回っていることから、授業者と生徒の授業に対する捉え方に違いがみられる。

【小・中共通】

- 「児童・生徒の学習状況」について前学年までの学習規律の維持、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する（褒めるなど）取組はすべての小・中学校で実施できた。
- 「開かれた教育課程」に関連する項目については高い水準を維持しており、学校運営協議会を通して、家庭・地域と教育課程の趣旨や目指す児童生徒像の共有が図られている。



(3) 改善の方策

◇昨年度同様、管理職・教務主任等による授業参観及び計画的な互見授業の取組等により、組織的な授業改善を推進していく。また、近年増加傾向にある経験年数の浅い教員の育成のためにも全校または学年部において学級経営や学習規律等の共通理解を図り、児童生徒の学びに向かう環境を整える。

7 今後の取組

①日田市学力向上の取組（令和5年4月作成）の継続

授業改善の推進

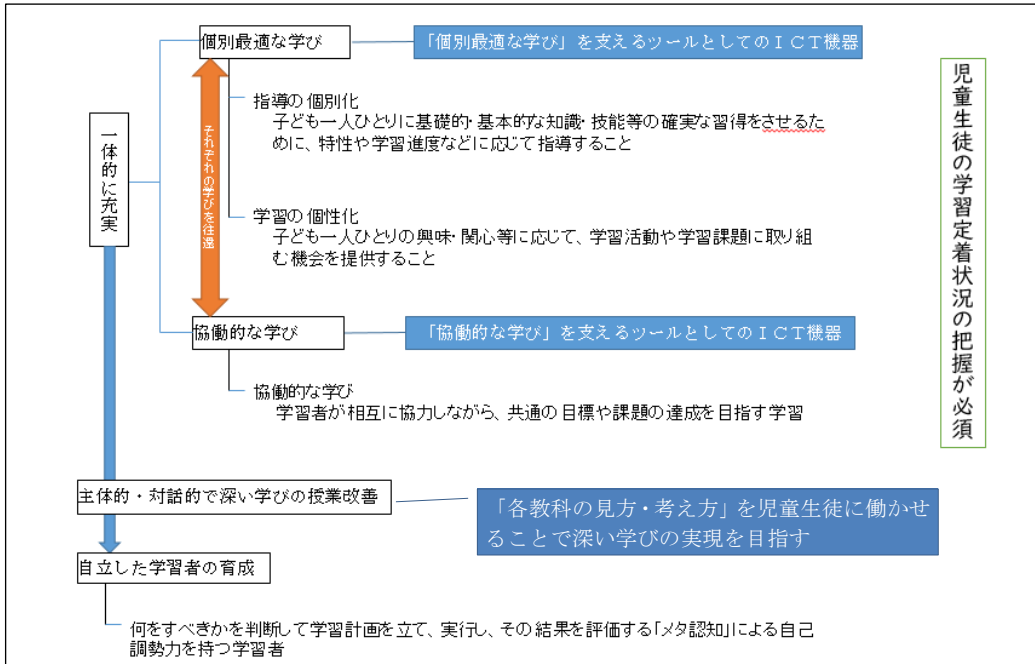
◇単元構想による付けたい力を明確にした授業の実現

児童生徒の実態、教材の特性、教師の願いをもとに、単元を通してどんな力を付けたいのかを明確にすること

- ・何を学ぶか（教材研究）
- ・どのように学ぶか（主体的・対話的で深い学び）
- ・何ができるようになるか（育成すべき資質・能力）
- ・児童生徒の学びの状況や学習心情を考慮した「めあて」「課題」「まとめ」や学習活動の設定
- ・「振り返り」の充実

連動

◇ICTを効果的に活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実



補充学習の充実

単元末の習熟度別学習や朝会・帯タイム等を活用した補充学習の推進  
 →学年部・教科部会等で自校の課題解決に向けた取組を組織的に行う  
 （A I ドリル Qubena、問題データベースの活用 等）

家庭学習の充実

- ◇A I ドリル Qubena による知識・技能の習熟
  - ◇各校で作成・購入したプリント・ドリル教材等の活用
- } 見取りまで丁寧に

## **その他**

◇指導体制の充実、授業規律の徹底、家庭との協働 等

### **②各学校による調査結果の分析と具体的な対策の作成及び取組**

- ・各学校は8月下旬までに調査結果を分析し、成果と課題を明らかにしたうえで、授業改善等の具体的な対策を講じ、2学期から取組を始める。

### **③第1回研究主任会の開催**

- ・日田市が目指す組織的な授業改善及び学力調査結果をもとにした授業改善に関する説明を校種別に開催する。

### **④1月の日田市学力調査において、各学校の学力向上の取組の成果を検証**

- ・短いスパンでP D C Aを行い、児童生徒の確実な学力の定着を図る。